

## 9. 卒業基準単位数について

各学部・学科が定める卒業基準単位数は以下の一覧表の通りです。詳細は59頁以降の各学部学科の説明を参照してください。また、19頁の「7. 進級と卒業条件について」の記載があるとおおり、以下の一覧表の単位を修得したとしても、通算GPAが2未満の場合は卒業できませんので注意してください。

### ■ 共通科目・学部学科英語科目の卒業基準単位数

学部	学科	共通科目及び外国語												計
		①基礎科目				②大学科目	④世界市民教育科目	⑤人文科学系科目	⑥社会科学系科目	⑦自然・健康科学系科目	⑧キャリア教育系科目	第1外国語	第2外国語	
		初年次セミナー	学術文章作法	自然分野科目	その他									
経済	経済	2	2	—	—	4	4	—	—	—	2	6	4	24
法	法律	2	2	2	—	4	4	—	—	—	—	6	4	24
文	人間	2	2	2	—	4	4	—	2	—	—	6	4	26
経営	経営	2	2	2	—	4	4	—	—	—	2	10	—	26
教育	教育	2	2	2	2	4	4	—	—	—	—	6	4	26
	児童教育													
理工	情報システム工	2	2	—	—	4	4	2	2	—	—	6	4	26
	共生創造理工	2	2	—	—	4	4	2	2	—	2	6	4	28
看護	看護	—	2	2	—	2	4	2	—	—	—	6	—	18
国際教養	国際教養	2	—	—	—	4	—	—	—	—	—	16	4	26

- ※1 理工学部生は「初年次プロジェクト」を2単位修得すること
- ※2 学術文章作法は、原則として「学術文章作法Ⅰ」で修得してください。なお、学術文章作法Ⅰは学部・学科によって履修する学期、クラスが決められています。なお、国際教養学部生はこの学術文章作法を履修する必要はありませんが、代わりに専門科目必修科目の「Academic Writing」を修得する必要があります。
- ※3 ①基礎科目の自然分野科目とは「基礎数学Ⅰ・Ⅱ」「統計学入門Ⅰ・Ⅱ」「コンピュータ・リテラシーⅠ・Ⅱ」及びGCP生のみ履修可能な「社会システム・ソリューションⅠ・Ⅱ」を指します。なお、看護学部生は「コンピュータ・リテラシーⅠ」が必修科目として指定されています。
- ※4 教育学部生は、①基礎科目のその他として、学術文章作法2単位・自然分野科目2単位のほかに共通科目・①基礎科目（学術文章作法、自然分野科目を含む）の中からさらに2単位以上を修得する必要があります。
- ※5 原則として第1外国語は英語を履修します。英語科目には、共通科目の「③言語科目（英語）」と学部学科英語科目があります。卒業のためには、これらの科目の中から必要な単位数を修得する必要があります。特に経済学科、経営学科、情報システム工学科、共生創造理工学科、国際教養学科は、学部学科英語科目を優先して卒業に必要な単位数を修得してください。
- ※6 第2外国語として、1つの言語で4単位以上を修得する必要があります（経営学部、看護学部を除く）。

■専門科目・自由選択の卒業基準単位数

学部	学科	専門科目				自由 選択	計	共通科目 (上記)	総計
		必修科目	選択必修科目	選択科目	小計				
経済	経済	—	28 ※1	38	66 ※2	34	100	24	124
法	法律	6	2	60	68 ※3	32	100	24	124
文	人間	14	4	42	60 ※4	38	98	26	124
経営	経営	8	34 ※5	36	78	20	98	26	124
教育	教育	14	18	46	78	20	98	26	124
	児童教育	14	14	50 ※6	78	20	98	26	124
理工	情報システム工	20	2	48	70	28	98	26	124
	共生創造理工	34	14	28	76 ※7	20	96	28	124
看護	看護	97	—	—	97	10	107	18	125
国際教養	国際教養	24	44 ※8	—	68	30	98	26	124

- ※1 経済学科の専門選択必修科目は、以下の通りそれぞれの領域から指定された単位数を修得すること  
 ・ミクロ経済学：4単位 ・マクロ経済学：4単位 ・経済数学入門：4単位 ・経済と歴史：4単位  
 ・統計：4単位 ・簿記：2単位 ・演習Ⅰ：2単位 ・演習Ⅱ：2単位 ・演習Ⅲ：2単位
- ※2 経済学科の専門科目には、選択した科目群（クラスター）の科目（専門科目表に▲印が付されている科目）を18単位以上含めること
- ※3 法律学科の専門科目には、選択したコースの科目（専門科目表に▲印が付されている科目）を24単位以上含めること。また、国際平和・外交コースを選択した場合は、コースが指定するAll English科目（専門科目表に(AE)と書かれている科目）を9単位以上含めること。
- ※4 人間学科の専門科目は、イントロダクトリー科目、ベーシック科目、アドヴァンスト科目として分けられています。専門科目として修得する60単位は、以下の表の通り修得すること。さらに、グローバル科目に指定された科目（専門科目表に「G」と記載されている科目）を2単位以上含めること。

科目特性	イントロダクトリー		ベーシック		アドヴァンスト		計
	選択必修	選択	選択必修	選択	必修	選択	
卒業基準単位数	2	4	2	24	14	14	60

- ※5 経営学科の専門選択必修科目は、選択必修科目A群、B群に分けられており、以下の通り指定された単位数を修得すること。

科目特性	卒業基準単位数	備 考
選択必修A群	18	以下の通り各領域から指定された単位数を修得すること ・経営学から4単位 ・簿記原理から4単位 ・統計学から4単位 ・経済学から4単位 ・人間主義経営演習から2単位
選択必修B群	16	

- ※6 児童教育学科の専門選択科目には、教科A～D、F～I群科目を各2単位、計16単位以上含めること
- ※7 共生創造理工学科の専門科目として修得する76単位は、以下の表の通り修得すること。また、専門応用科目の「領域選択必修科目」は、選択した領域が指定する科目から10単位修得すること

科目特性	専門導入科目	専門基礎科目		専門演習科目		専門応用科目		計
	必修科目	必修科目	選択必修科目	必修科目	領域選必修科目	選択科目		
卒業基準単位数	6	20	4	8	10	28	76	

- ※8 国際教養学科の専門選択必修科目は、Quantitative & Qualitative Analysis科目群（QQA科目群）、Level 100-200科目群、Level 300-400科目群の3つの科目群から、それぞれ以下の通り単位を修得すること。また、Level 100-200科目群及びLevel 300-400科目群の中には、「歴史・文化・社会」「政治・国際関係」「経済・経営」の3つの分野があり、各分野からそれぞれ4単位以上修得すること。

科目特性	QQA科目群	Level 100-200科目群	Level 300-400科目群	計
卒業基準単位数	8	16 (3分野から各4単位、計12単位 を含めること)	20 (3分野から各4単位、計12単位 を含めること)	44